



2月園だより



こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年2月1日 生田保育園

今年の冬は暖かい日も多く、門の前のハクモクレンのつぼみも昨年よりもはやく成長しています。子どもたちも外に出る時、上着を着たり脱いだりと気温に合わせて調節することが上手になりました。今年度も早いもので残り2か月。各クラス充実した日々を送れるよう活動していきたいと思っています。



2月3日は節分の日

「節分」は、季節を分けるという意味があり、立春・立夏・立秋・立冬の前日をさします。「鬼は外」と言いながら家の外に、「福は内」と言いながら家の中に豆をまいて、悪いものを追い出して無病息災を願う風習があります。

2月4日は立春

「立春」は暦の上で「春が始まる日」とされています。毎年日付が固定されているわけではなく、太陽の動きによって決まるため、2026年の立春は2月4日になります。古くから日本では、立春を1年の始まりと考える習慣があり、節分の豆まきもこの立春を迎えるための厄払いとして行われてきました。

～冬野菜を育てています～



事務室前の園庭のプランターではぱんだ組がかぶを育てています。グループごとに種を植え、今では可愛い芽がすくすくと育っています。また、門の近くのプランターではぞう組が白菜を育てています。乳児クラスの子どもたちも毎日の日課のように見ています。日々の成長を間近で見て、実際にお店で売られているものや料理に入っているものとつながり興味関心を深め、食べ物を大切にする心を育んでいきたいと思っています。

イラスト出典：メイト